地域の安全のために『一致団結！』

DAN!!

宮崎県消防団だより「ダン!!」

[Vol.11]

2017.11 “November”

[特集1] 消防ピンクの消防団訓練レポート第1弾!!

西米良村消防団 夏季訓練大会に潜入!!

[特集2] 豪雨災害や水難事故で力を発揮

宮崎市消防団 水上バイク隊

消防防災関連情報!!

宮崎県防災・危機管理情報のホームページ
http://www.pref.miyazaki.lg.jp/kiki-kikikanri/kurashi/bosai/bosai_kikikanri_joho.html

総務省消防庁のホームページ
http://www.fdma.go.jp/

私が潜入します!

只今より訓練を行う

了解しました!!

消防ピンク
宮崎市消防団所属
宮崎大学学生消防隊隊員

［特集 1］

西米良村消防団 夏季訓練大会に潜入!!

9/2（土）に西米良村健康増進広場にて行われた夏季訓練大会の様子を消防ピンクがお届けします。通常点検、機械器具点検のほか、山林火災を想定して、ジェットシューターによる消火訓練や県の防災ヘリ「あおぞら」との連携訓練を行いました。

村長・副村長による通常点検、機械器具点検が行われました。こちらまで緊張感が伝わってきます。

機械器具点検

通常点検

ジェットシューターの水のうに給水

広範囲に広がっている防災ヘリの出動要請だ!!

火災発生現地確認せよ!!

急げ急げ!!

山林火災消火訓練スタートです

結構な勢いだ〜！

災害対策本部

火勢がなかなかおさまりません!

ここには15リットルの水が入るんですよ。

ほぉ〜

防災救急ヘリコプター
「あおぞら」

宮崎空港から県の最北端まで約30分で駆けつけることができる高い機動力を誇り、山林火災や救急搬送、遭難者救助などの際に大活躍！今後も、消防団との連携訓練に積極的に取り組みます。

なんと宮崎空港から西米良村まで約13分!!

消防団に給水要請!!

団長が航空隊員に現状を報告するとともにヘリに同乗し、上空から現地を確認します。

散水だ!! 消すぞー!!

給水を終えた「あおぞら」は再び現地へ駆けつけて散水

ミキサー車から可搬水槽に給水。水槽から「あおぞら」まで、消防団員がホースをつなぎます。

ミキサー車到着!!

「あおぞら」のタンクにホースを使って給水。最大1,400Lの水を積載できます。

無事に鎮火!! よしっ！撤収

緊張感のある訓練になったと思います。お疲れさまでした。

お疲れ様でした！

はじめて間近で見た「あおぞら」は大迫力でした。回転翼の風圧がすごいので、訓練の際は、キャップが飛ばされないように注意が必要です。そして何より、村を自分たちで守るぞ! という団員さん達の熱い想いを感じた訓練大会でした。西米良村消防団のみなさん、ありがとうございました！　次はあなたの町の消防団に出動するかも!?

防災ヘリとの連携訓練は、簡単にできることではありませんので、良い経験になりました。実践的で勉強になりましたし、今後もこういった訓練をしていく必要があるなと課題も見えましたね。ヘリに搭乗するのが初めてで緊張していましたが、予想以上に乗り心地もよく、快適でした(笑)

西米良村消防団 団長　**中武 初夫さん**

結成10周年

豪雨災害や水難事故で力を発揮

[特集2] 宮崎市消防団水上バイク隊

平成19年6月、他県に先駆けて発足し、今年結成10周年を迎えた「宮崎市消防団水上バイク隊」。初動の早さと機動力を武器に、水難事故や浸水被害が発生した際の救助活動や行方不明者捜索などを行う市民の強い味方です。全国からも注目を集める水上バイク隊の活動について、尾崎正孝隊長に話を伺いました。

まずは、水上バイク隊が発足した経緯についてお聞かせください。

きっかけは、平成17年に発生した台風14号による豪雨災害です。あのときは、宮崎市小松地区一帯が浸水したのですが、救助活動を行うのにボートを貸してもらえないだろうかと、消防局から問い合わせがあったんです。

あいにくボートはなかったのですが、水上バイクならすぐに準備ができたので、仲間達と4台で現地に向かいました。そこから手分けして、家に取り残された住民など約90名を救助したんです。

その翌年に、水上バイク隊を作ってくれないかとの要請があり、二つ返事で引き受けました。

現在は何名の方が活動されているのですか？

現在14名が活動していますが、みんな水上バイクのベテランばかりなので、かなりの腕前ですよ。

毎月一度は集まって、水難救助訓練を行っています。

具体的にはどのような活動をされているのですか？

沿岸や河川での救助活動や行方不明者捜索を行っています。

「サーファーが流されてい

台風14号災害時の活動
救助活動の他、入院患者のための食料や医療機器、発電機などの物資輸送にも携わりました。

尾崎隊長
発足当時から隊長を務める尾崎正孝さん。宮崎市で船舶や水上バイクなどの販売店を経営しています。

水難救助訓練に密着！

9月10日、宮崎港そばの海岸で行われた水難救助訓練を取材。この日の訓練には隊員9名が参加し、熟練の技で自由自在に水上バイクを操っていました。

隊長のインタビューと訓練風景はここから!

1 消防局からの要請を受けて現場に到着した水上バイク隊。手分けして要救助者を捜索。

2 「要救助者発見！」の声に緊張感がさらに高まる。

3 要救助者のもとに急行し、「大丈夫ですか！」と声かけ。

4 要救助者を確保して、水上バイクに連結したレスキューボードに収容。

5 要救助者が滑り落ちないよう、抱きかかえるようにして浜へ。

6 必要であれば心肺蘇生を行い、消防局救助隊へと引き渡して任務完了。

る」との通報を受けて、宮崎市消防局救助隊と合同で捜索・救助したこともありますし、消波ブロックに衝突して操舵不能になった船から消波ブロック上に避難していた男性を救助したこともありました。

この5年間で、16回、延べ40名が災害出動しています。

水上バイク隊ならではの強みはなんでしょうか？

水上バイクは、スロープさえあればどこにでも下ろすことができますし、膝上まで水深があればどこにでも行けます。そこが何よりの強みです。3秒あれば時速100㎞に達するので、すぐに現場へと急行できますしね。

それに、船はひっくり返ってしまったらどうにもなりませんが、水上バイクの場合、ひっくり返っても起こせばすぐにエンジンがかかります。最近の水上バイクは3人乗りで安定感もあるので、救助活動を行うのに最適だと思いますよ。

水上バイク隊のみなさんがいることはとても心強いですが、まずは水難事故に遭わないことが大事。そのために、気を付けるべきことはありますか？

海水浴でも釣りでもですが、ライフジャケットを着用していれば安心ですね。万が一、溺れてしまったときには、何もせずにじっと浮いていることが大切です。下手に泳ごうとすると、濡れた洋服などの重みもあって疲れてしまい、沈んで亡くなってしまうことが多いんです。

今後の抱負をお聞かせください。

水上バイク隊はチームワークが命。訓練を重ねて、1秒でも早く要救助者のもとに駆けつけて、1人でも多くの人命救助に貢献していきたいですね。

宮崎市水上バイク隊の主な活動

通常時

○水上バイク隊独自での水難救助訓練
○宮崎市消防局救助隊との合同水難救助訓練
○消防出初式等の消防団行事への参加
○市や消防団が主催する水難救助訓練への参加
○一般団員で実施する舟艇訓練等への参加

災害時

○水上バイクが航行可能な沿岸（海岸から2海里以内）や河川での水難事故での救助活動
○河川等における行方不明者捜索
○台風や大雨などによる水害発生時の内水面での救助活動

主な水難救助活動

○男性が船釣りを行っていたところ、宮崎港から300m沖の消波ブロックに船が衝突し操舵不能状態に。消波ブロック上に避難していた男性を確保して、水上バイクに乗せて救助。その後、釣り船を水上バイクで曳航。

○宮崎港内で浮いている男性を釣り人が発見し通報。急行した水上バイク隊が男性を確保し、水上バイクで駆けつけた消防局救助隊と連携して収容し、岸壁まで搬送。

地元の安心・安全守りたい！

我ら、消防団員

今回は川南町消防団を紹介します！

漁師のあふれる男気で地域を守る!!

川南町消防団 第1分団 第2部

近海マグロ延縄漁業やひき縄漁業により県内有数の水揚げ高を誇る川南漁港がある通浜地区で、9月3日（日）に津波対策訓練が行われました。

未明から早朝にかけて漁に出かける漁師の方が多数在籍する第2部。漁師と日中に仕事をされている方では生活リズムが異なるため、部員全員が揃わないことも珍しくありません。ちなみにこの日も、一部の部員は台風の影響により種子島に足止めされたため、やむなく欠席となりました。訓練には消防団員のほか、組合長をはじめとした漁協の役職員や、通浜婦人防火クラブの会長も参加。南海トラフ地震に伴う津波の発生を想定して、漁港近隣の住民を海抜20mの高台まで誘導しました。

この地域には高齢者も多いため、災害発生時には、防災力の要として消防団員の存在がたいへん重要となります。

第2部の部員は、川南で生まれ育った方がほとんど。「部には幼い頃からの知り合いも多いんですよ。地元の人間が多いことが強みになってると思います。訓練をいかし、チームワークもばっちりです」と部長の菊池さんは話します。

団員たちは津波を想定し、ライフジャケットを着用。

消防本部の指導のもと、消火栓の使用方法についての講習も行われました。

川南町消防団
第1分団第2部 部長
菊池 敬典さん

「沿岸部」ならではの体制

日向灘に面する川南町では、従来から津波避難訓練に力を入れています。平成29年度には4度の津波避難訓練を計画。10月には夜間の避難訓練も実施しました。また、特に津波による被害が想定される漁港周辺の通浜地区の防災力を高めるため、第1分団第2部の中に「通浜方面隊」を設置しています。

消防団協力事業所紹介 3

旭化成株式会社 延岡支社（延岡市）

平成20年に延岡市から消防団協力事業所として認定されています。

我々と一緒に地域のために活動しましょう！

甲斐博之さん
延岡市消防団
副団長

企業と地域防災の要となる消防団員の存在

延岡市内にある旭化成グループには、現在143名の消防団員が所属し、県内でも最大級の消防団協力事業所となっています。

協力事業所の認定を受けた平成20年当時の団員数は80名でしたが、年々増加。「将来的には200名超えを目指します」と甲斐副団長。

各工場では交替制の勤務が行われているため、通常手薄になりがちな平日昼間の時間帯も、非番の方を中心に積極的に出動してくださるので、延岡市消防団にとって、とても心強い存在です。

社員の消防団加入だけでなく、今年7月に行われた延岡市消防団第2支団操法大会では、グループのキャンペーンモデル・大伴理奈（おおともりな）さんが1日消防団長を務めてくれました。操法要員を激励していただいたほか、市内で女性消防団員とともに団員募集のチラシを配布し、多くの市民に入団を呼び掛けていただきました。「今後とも消防団活動をはじめ、地域全体をもりあげるために協力していきたい」と延岡支社総務部の中村課長。

一方、各工場では消防団員が主体となって、定期的に消火訓練などを実施。事業所の自衛消防力向上に消防団員が一役買っています。

今年4月に入団した尾崎翔太さんは、「近所の方の勧めもあって入団しました。最近、団活動も活発化しているので、自分も積極的に参加して地域に貢献したいです。団活動では会社以外の団員との交流もできるので自分の成長にも役立っています」と抱負を語ってくれました。

消防団協力事業所表示制度

「消防団協力事業所表示制度」とは、事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制をより一層充実することを目的とした制度です。

Topics

第23回全国女性消防操法大会

9月30日（土）、秋田市において、第23回全国女性消防操法大会が開催され、宮崎市消防団女性分団から7名が出場しました。

当日は、あいにくの荒天で、途中、雷雨による20分程度の中断がありましたが、出場した隊員は、「大会では、訓練と同様の操法を行うことができ、目標タイムをクリアすることができました。多くの方の協力があって1年以上の長期間の訓練ができたことに感謝と達成感でいっぱいです」と語っていました。

消防団だより「DAN!!」は紙だけではない！

電子ブックはもちろん。さらに読みやすくパワーアップ!!

紙＆電子版：消防団だより「DAN!!」特集ページ

WEB版：消防団だより「DAN!!」特集ページ

WEB記事へ!!

過去のアーカイブも
WEB記事として閲覧可能です

WEBやスマホでは
縦スクロールの方が
断然、読みやすい！

消防DAN　検索

消防団だより「DAN!!」
特設サイトへ
スマホやタブレットはこちらから。

求ム、消防団員！

宮崎県には、14,688人（平成29年4月1日現在）の消防団員が、それぞれの職業を持ちながら、火災・地震・風水害から住民の生命と財産を守るためがんばっています。あなたも、消防団員として活動しませんか？詳しくは、お住まいの市町村にお問い合わせください。

女性の団員も増えています！

一人暮らしの高齢者宅を訪問しての防火点検や子どもを対象にした防災教室のほか、人工呼吸や応急手当の普及指導など、細やかな視点を活かしての防災啓発などを行っています。

この5年間で
20％増!!

平成29年
356名

平成25年
299名

**消防団活動には
女性のチカラが欠かせません！**

見てくれよな！

女性編「マッチマンを起こせ！」

「消 TUBE」始動!!

県では、消防庁の「平成28年度 女性や若者をはじめとした消防団加入促進支援事業」を活用して、女性や若者をターゲットとした消防団加入促進のための映像「消 TUBE」を作成しています。
この映像は、県の情報を動画で発信する「宮崎県庁楠並木ちゃんねる」や「You Tube」でもご覧いただけます。
現役消防団員も出演しますので、ぜひご覧ください。

地域の安全のために『一致団結！』
DAN!!
宮崎県消防団だより「ダン!!」
[Vol.11]
平成29年11月発行

[発行]
宮崎県総務部 危機管理局 消防保安課
〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号
TEL0985-26-7627 / FAX0985-26-7304

[企画編集・デザイン・印刷]
株式会社 宮崎南印刷
〒880-0911 宮崎市大字田吉350番1号
TEL0985-51-2745 / FAX0985-52-2682

日本の
ひなた
宮崎県